

第 1 9 0 4 回 埼 玉 県 教 育 委 員 会 定 例 会

- 1 日 時 令和 3 年 4 月 1 2 日 (月) 午前 1 0 時 開 会
午前 1 0 時 5 8 分 終 了
- 2 場 所 埼 玉 県 教 育 局 教 育 委 員 会 室
- 3 出 席 者 高 田 教 育 長、後 藤 教 育 長 職 務 代 理 者、伊 倉 委 員、遠 藤 委 員、石 川 委 員、
戸 所 委 員、萩 原 副 教 育 長、佐 藤 教 育 総 務 部 長、日 吉 県 立 学 校 部 長、石 井
市 町 村 支 援 部 長、八 田 義 務 教 育 指 導 課 長、臼 倉 県 立 学 校 人 事 課 長、竹 井
県 立 学 校 部 参 事 兼 特 別 支 援 教 育 課 長、阿 部 小 中 学 校 人 事 課 長、高 津 教 職
員 採 用 課 長
栗 原 書 記 長、岩 崎 書 記、原 口 書 記、森 山 書 記
- 4 会 議 の 主 宰 者 高 田 教 育 長
- 5 会 議
- (1) 前 回 議 事 録 の 承 認
- 全 出 席 委 員 異 議 な く 本 件 記 載 ど お り 承 認
 - 高 田 教 育 長 が、遠 藤 委 員 を 議 事 録 の 署 名 者 に 指 名 し た。
- (2) 議 事
- 第 4 7 号 議 案 令 和 3 年 度 埼 玉 県 教 科 用 図 書 選 定 審 議 会 に 対 す る 諮 問 事 項 に つ い
て 上 程
- 八 田 義 務 教 育 指 導 課 長 (提 案 理 由 及 び 諮 問 事 項 に つ い て 説 明)
- 全 出 席 委 員 異 議 な く 本 案 原 案 ど お り 可 決
- (3) 報 告 事 項
- ア 学 校 職 員 の 勤 務 時 間、休 暇 等 に 関 す る 規 則 の 一 部 を 改 正 す る 規 則 に つ い て
- 臼 倉 県 立 学 校 人 事 課 長 (提 出 理 由、専 決 処 理 を 行 っ た 理 由、専 決 処 理 等 の 状 況、
改 正 の 内 容 及 び 施 行 期 日 に つ い て 説 明)

伊倉委員 この休暇により先生方がボランティアをする機会が拡大することは、非常にいいことだと思います。アスポート事業など生活保護世帯の子供たちに学習を指導することは、先生以外の一般の方が教えることは、なかなか難しいこともあります。そのため、先生方にこのような休暇が取得できるようになったということを広く周知していただき、また先生方がより積極的に関わるようにコマーシャルをしていただいて、夏休みなどの先生方が余力のあるときにより多くの先生方がこのようなことに関わっていただけたらと強く感じました。先生方も忙しいと思いますが、管理職や周りの先生方にもこのような活動が今後の教員にとっても必要だということを県教育委員会としても併せて啓発活動をしてほしいと考えます。

臼倉県立学校人事課長 この件につきましては、3月30日に各学校宛てに通知をしております。また、4月1日付けで休暇について通知のような形で先生方に配布しており、今後も周知に努めてまいりたいと考えています。

イ 特別支援学校の高校内分校設置について

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 （提出理由、目的、概要、設置方法及び今後の予定について説明）

石川委員 私は草加分校を視察し、高校の生徒も分校の生徒も相互に非常にいい影響を与えているとの説明を受けて、素晴らしい取組であると思いました。以前の教育委員会でも話題になりましたが、玄関が別に設置されているなど、一緒の敷地にいるがどこか別々で一体感がない印象を受けることがありました。既存の施設を活用するため、施設を変更することはなかなか難しい側面もありますが、今後予定されているところについては、普通高校の生徒と分校の生徒は同じ敷地内で学ぶので、一体感が感じられるような配慮をしてほしいと感じました。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 以前の教育委員会で御指摘いただいた玄関の設置については、設計の際に配慮できる所は、十分していきたいと考えております。高校の施設を活用するため、出来上がっている所に無理に玄関を

作ることは難しいところもございますが、施設面だけではなく授業で交流を図るなどソフトの部分でも更に一体感を高められる取組を行いたいと考えています。

戸所委員 方向性としては、素晴らしいと思います。普通高校の生徒にとっても特別支援学校の生徒にとっても双方向にプラスになっていると思います。具体的に普通高校の生徒にとってどのようなところがプラスになっているのか教えてほしいと思います。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 障害のある同世代の生徒が何事にも一所懸命に取り組んでいる姿を見ることは、高校生にとってかなりプラスに響いている印象を受けました。また、障害のある生徒と一緒に生活する中で、福祉の道に進むなど、進路先の選択の幅が広がっているとの報告を受けております。

戸所委員 一緒にやることで普通高校の生徒にとってもいろいろな意味でプラスになることが多いので更に高めるような取組をしていただければと思います。

伊倉委員 私も方向性は非常にいいと思っています。特に私は、小・中学校の特別支援学級で通常学級の児童生徒と一緒に同じ校舎で学んでいた子供たちが、次の段階の高校でも同じように学び、生活することができる、そこを目指していくことが非常に重要だと考えています。先ほどの説明の中でもソフトの面で交流も重要だとは思いますが、現在、小・中学校の児童生徒と特別支援学級の児童生徒の下駄箱は一緒の場所、並びにあります。そこについては、他を削ってでもやっていただきたいなと考えています。ソフトの面で交流することは、高校まで行くと難しい部分も出てくる場所があるかもしれません。しかし、同じ場所の下駄箱を使用することは、日常的に触れ合うことができ、あいさつもできる。インクルーシブ教育という意味では、そこが一番大事なのではないかと私自身は考えています。「おはよう。」などの日常的な挨拶と一緒にできることが、大事だと感じています。それがクリアできれば、大人が仕組みを作らなくても子供たち同士がやれることがもっとも増えてくるのではないかと思います。子供たちが自然発生的に触れ合える場所をたくさん作ってもらい、そこに大人たちのアイデアや予算を投入してほしいと感じました。いろいろと難

しいところはあると思いますが、子供たちが伸びる力、感動し合う力、影響し合う力を信じて、そこを大人たちがサポートしていく、そのような分校を設置していくことに、私自身可能性や希望を持ちましたので今後も子供たちのアイデアも入れながら、検討してもらえればと思いますのでよろしく願いいたします。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 委員お話のとおり、意図的なものだけではなく、自然発生的にできるよう十分に配慮していきたいと考えております。本日説明した3校については、今後の設計になりますので、十分に配慮しながら、検討を進めていきたいと考えています。

遠藤委員 現在は、特別支援学校に行く生徒が増え、逆に高校の生徒が減っている状況を踏まえ、既存の高校の校舎を活用するという方針は決まっているのでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 高校は、空いた施設を少人数で対応するなどいろいろな工夫をしています。施設の有効活用という点では、高校内分校の設置については特別支援教育についても有効であると考えていますので、分校の設置について今後も検討を進めていきたいと考えております。

遠藤委員 有効活用という視点でいくと普通高校の生徒と特別支援学校の生徒が一緒にいる場があるので、施設の改善を加えつつ、一緒にやっていければいいと思います。全てを一緒にすることは、教育目的も違いますのでなかなか難しいところもあると思います。実際に親はインクルーシブではない高校で子供を教育したいと希望しているので特別支援学校の生徒が増えている現状があります。特別支援学校を希望した生徒や保護者の様々なニーズに応え、教育的な配慮をしていきながら、施設の整備をしてもらえればと思います。

後藤教育長職務代理者 私自身、大宮武蔵野高校、川越初雁高校、草加西高校の3校を訪問しましたが、高校、分校の生徒同士の接点を持たれていて、いい学校運営をされているなどの印象を受けました。今回の方針の中で通学区域を設けていない点は非常に良いと思います。既存の県立高校の教育目標や学校のカラーやイメージで障害のある生徒も障害のない生徒も学校を選択できる範囲が

広がったということは非常に素晴らしいことだと思います。今後は、それぞれの学校のイメージやカラーをもっともっとブラッシュアップしてもらい、既存の県立高校の魅力を高めつつも、それぞれの分校のカラーというものも共有化して、進めてもらえればと思います。高校と分校の交流ですが、中学校卒業間もない普通高校と分校の1年生が全ての部分で交流することは、戸惑いもあると思います。そのため、教育課程の中でいかに融合していくのか、少しずつステップを作っていくことが大切だと考えます。生徒は学校を卒業後、就職する、専門学校に入学するなどいろいろな選択肢がありますが、社会の一員として準備をすることが非常に大切ですので分校を設置する上でもこのような観点も検討してもらえればと思います。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 委員お話のとおり、それぞれの分校が地域と連携する中でそれぞれの特色を出しながら、お互いが競えるような形で進めていければと思います。御指摘いただいた点は、一遍に全て一色にということではなくて、それぞれの個性を生かしながら、時間を掛けて丁寧に進めていきたいと考えております。

教育長 越谷西特別支援学校松伏分校ですが、4月9日に開校式及び第1回の入学式を挙行させていただきました。私も代表で列席しましたが、16名の元気な生徒が入学してくれました。保護者の方の御列席の下、立派な開校式と入学式ができたと思います。代表の生徒が非常に素晴らしい誓いの言葉を述べており、高校の校長も同席しておりましたが今後の交流が非常に楽しみな部分であります。松伏分校は、1階の部分が特別支援学校の生徒が使用しておりますが、同じフロアに普通高校の生徒の教室もあります。トイレなど共用施設も1階にあるため、日常的に交流もできるのではないかと考えております。御指摘を頂いた点を考慮し、これからも引き続き分校の設置については丁寧に進めていきたいと考えております。

(4) 次回委員会の開催予定について

4月22日(木) 午前10時

< 非公開会議結果 >

第 4 6 号議案 令和 3 年度埼玉県教科用図書選定審議会委員の任命について

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等の規定に基づき、令和 3 年度埼玉県教科用図書選定審議会委員を任命することを決定しました。

【報告事項】

次の事項について、教育長から報告がありました。

報告事項ウ 教職員の人事について

報告事項エ 教職員の懲戒処分について